



富山県では、「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」をビジョンに掲げて、「富山県成長戦略」を策定しています。

そのうちの「持続可能な魅力ある地域づくり」を県民の皆さんと一緒に考えるため、そうした取組みの先進事例である「風の谷構想」について、提唱者の安宅和人氏をお招きして、ご講演いただきます。



A Worthy Tomorrow

デジタル活用による人と自然が共存する持続可能な地域づくり

「風の谷」フォーラム



演題：

“風の谷”という希望

A hope named “Valley of the Wind”

講師：安宅 和人 氏

慶應義塾大学環境情報学部 教授
Zホールディングス株式会社 シニアストラテジスト

令和4年9月17日 土 10:00～12:00 (9:30より開場)

富山県民会館 / 304号室 (富山県富山市新総曲輪4番18号)

定員

150名
参加無料



▶お申込方法 締切：9月12日(月)

左記のお申込フォームよりお申込ください。希望者が定員150名を超えた場合は抽選となります。メール連絡をもって当落のご案内とさせていただきます。当日の様子はアーカイブ配信いたします(要申込み)。

<https://pro.form-mailer.jp/lp/2645b478264533>

マッキンゼーを経て、2008年からヤフー。前職ではマーケティング研究グループのアジア太平洋地域中心メンバーの一人として幅広い商品・事業開発、ブランド再生に関わる。2012年よりCSO、2022年よりZホールディングス シニアストラテジスト。全社横断的な戦略課題の解決、事業開発に加え、途中データ及び研究開発部門も統括。2016年より慶應義塾SFCで教え、2018年秋より現職。総合科学技術イノベーション会議(CSTI)専門委員、内閣府デジタル防災未来構想チーム座長、教育未来創造会議 委員、新AI戦略検討会議委員ほか公職多数。データサイエンティスト協会理事・スキル定義委員長。一般社団法人 残すに値する未来 代表。イエール大学脳神経科学 PhD。著書に『イシューからはじめよ』(英治出版)、『シン・ニホン』(NewsPicks) ほか



風の谷憲章

Charter of Creating Valley of the Wind

前文的なもの

人間はもっと技術の力を使えば、自然と共に豊かに、人間らしく暮らすことができる空間を生み出せる。経済とテクノロジーが発展した今、我々は機能的な社会を作り上げることに成功したが、自然との隔りがある社会に住むようになり、人間らしい暮らしが失われつつある。これは現在生きる我々の幸福だけの問題ではない。これからの世代にとってのステキな未来を創るための課題でもある。「風の谷」プロジェクトは、テクノロジーの力を使い倒し、自然と共に人間らしく豊かな暮らしを実現するための行動プロジェクトである。同時にこれは、都市に代表される密集的な空間利用と社会構造に対して、「開疎」的なオルタナティブを提唱するものである。

▶ 「風の谷」はどんなところか

よいコミュニティである以前に、よい場所である。ただし、結果的によいコミュニティが生まれることは歓迎する。

人間が自然と共存する場所である。ただし、そのために最新テクノロジーを使い倒す。

その土地の素材を活かした美しい場所である。ただし、美しさはその土地土地でまったく異なる。

水の音、鳥の声、森の息吹……自然を五感で感じられる場所である。ただし、砂漠でもかまわない。

高い建物も高速道路も目に入らない。自然が主役である。ただし、人工物の活用なくしてこの世界はつくりえない。

▶ 「風の谷」はどうやってつくるか

国家や自治体に働きかけて実現させるものではない。ただし、行政の力を利用することを否定するものではない。

「風の谷」に共感する人の力が結集して出来上がるものである。ただし、「風の谷」への共感以外は、価値観がばらばらでいい。

既存の村を立て直すのではなく、廃村を利用してゼロからつくる。ただし、完全な廃村である必要はない。

「風の谷」に決まった答えはない。やりながら創りだしていくもの。そのためには、行き詰ってもあきらめずにしつこくやる。ただし、無理はしない。

「風の谷」を1つ創ることで、世界で1000の「風の谷」が生まれる可能性がある。ただし、世界に同じ「風の谷」は存在しない。

▶ 「風の谷」が大切にしている精神

自然と共に豊かに人間らしい生活を営む価値観。ただし、「人間らしさ」は人それぞれである。

多様性を尊び、教条的でないこと。ただし、まとまらなければならないことがある。

コミュニティとしての魅力があること。ただし、人と交流する人も、一人で過ごしたい人も共存している。

すべての人が尊重し合うこと。ただし、人と干渉しない尊重の仕方もある。

既得権益や過去の風習が蔓延らないこと。ただし、積み重ねた過去や歴史の存在を尊ぶ。

▶ さいごに

「風の谷」は観光地ではない。ただし、観光客が来ることを拒まない。

「風の谷」は風の流れがあり、匂いや色彩の豊かさを五感で感じられる空間である。ただし、谷がなくてもいい。

詳しくは、『風の谷』HP
(<https://aworthytomorrow.org/organization/>) をご覧ください

